

報道関係者各位

平成 24 年 10 月 12 日

休日来場者数が各日 1,000 人を超え、大好評のまま、県南地方で初開催の白河市へ

笑顔がいっぱいふえるといいな。

平成 24 年度 東日本大震災 教育支援事業 日赤キッズクロスプロジェクト
『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』 開催のご案内



期 間:平成 24 年 10 月 16 日(火)~25 日(木)

※10 月 25 日(木)の午前中は招待団体利用のみ。一般利用は 10 月 24 日(水)まで。

場 所:白河市国体記念体育館

日本赤十字社福島県支部では、この度、「日赤キッズクロスプロジェクト」の一環として、『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』を開催致します。前回 9 月 30 日(日)から開催された「いわき市南の森スポーツパーク 南部アリーナ」には、週末、1 日で 1,000 人以上の方にご来場いただき、とても多くのご家族やお子様にご好評を得ることができました。

今回の白河市に続いて、11 月に相馬市、12 月に福島市での開催を予定しております。



『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』は、東日本大震災による原発事故の影響で屋外での活動が制限され、運動不足や精神的ストレスを感じている幼児がおもいきり運動や遊びを楽しめる場所を提供し、ストレスの解消と運動能力の向上の一助とするとともに、青少年赤十字の「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の精神、態度を育てることを目的としています。

会場には、子どもたちがおもいきり遊ぶことが出来るよう、巨大エア遊具、ボールプールやサイバーホイールなど、安全に配慮した遊具を設置しています。ステージプログラムでは体操教室やバルーンアートプログラムを実施します。

10 時からオープニングセレモニーを行いますので、ぜひご取材ください。

■本リリースおよび取材に関する問い合わせ先

すまいるぱーく広報事務局 担当:宮内

フリーダイヤル:0120-770-828(平日 9:30~18:30) 当日の連絡先:090-3801-1233(10/16 のみ)

■日本赤十字社に関する問い合わせ先

日本赤十字社福島県支部 担当:松本・富田 TEL:024-545-7997

<事業概要>

- 【名称】 平成 24 年度 日本赤十字社 東日本大震災 教育支援事業
日赤キッズクロスプロジェクト 『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』
- 【事業内容】 東日本大震災による原発事故の影響で屋外に出られず、運動不足や精神的ストレスを感じている幼児がおもいきり運動や遊びを楽しめる場所を提供する

- 【スケジュール】
- | | | |
|--------|----|---|
| ①福島市 | 日程 | :平成 24 年 7 月 3 日(火)~7 月 13 日(金) |
| 終了しました | 会場 | :福島市南体育館 (福島市松川町浅川字笠松 11-2) |
| | 共催 | :福島市、福島市教育委員会 |
| ②相馬市 | 日程 | :平成 24 年 7 月 22 日(日)~8 月 3 日(金) |
| 終了しました | 会場 | :相馬市総合福祉センター はまなす館
(相馬市小泉字高池 357) |
| | 共催 | :相馬市、相馬市教育委員会 |
| ③いわき市 | 日程 | :平成 24 年 9 月 30 日(日)~10 月 10 日(水) |
| 終了しました | 会場 | :いわき市南の森スポーツパーク 南部アリーナ
(いわき市錦町細谷 102-58) |
| | 共催 | :いわき市、いわき市教育委員会 |
| ④白河市 | 日程 | :平成 24 年 10 月 16 日(火)~10 月 25 日(木) |
| | 会場 | :白河市国体記念体育館 (白河市北中川原 30) |
| | 共催 | :白河市、白河市教育委員会 |
| ⑤相馬市 | 日程 | :平成 24 年 11 月 14 日(水)~11 月 26 日(月) |
| | 会場 | :スポーツアリーナそうま (相馬市中村字北町 55-1) |
| | 共催 | :相馬市、相馬市教育委員会 |
| ⑥福島市 | 日程 | :平成 24 年 12 月 18 日(火)~12 月 27 日(木) |
| | 会場 | :パルセいいざか (福島市飯坂町字筑前 27-1) |
| | 共催 | :福島市、福島市教育委員会 |

- 【主催】 日本赤十字社福島県支部
- 【後援】 福島県国公立幼稚園長会、福島県保育協議会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、NHK 福島放送局、ラジオ福島、ふくしま FM 他
- 【協力】 キヤノンマーケティングジャパン株式会社、東北協同乳業株式会社
- 【対象】 福島県在住の未就学児
- 【入 場 料】 入場無料
- 【問い合わせ先】 すまいるぱーく事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-16-7 (インプレッション株式会社内)
フリーダイヤル:0120-770-828(平日 9:30~18:30)
URL:www.smile-park.net

【10/16(火)オープニングセレモニーご取材のご案内】

日本赤十字社 福島県支部、白河市、白河市教育委員会では、この度、「日赤キッズクロスプロジェクト」の一環として、2012年10月16日(火)に『すまいるぱーく in FUKUSHIMA』オープニングセレモニーを開催致します。報道関係の皆様におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただくとともに、ご取材を賜りますようお願い申し上げます。

オープニングセレモニー

- 【日時】 2012年10月16日(火) 10:00～10:20 (受付開始 9:00)
- 【実施内容】
- ◇主催者挨拶 日本赤十字社 福島県支部 事務局長 穴沢 正行
 - ◇共催挨拶 白河市長 鈴木 和夫
 - ◇テープカット 日本赤十字社 福島県支部 事務局長 穴沢 正行
白河市長 鈴木 和夫
白河市教育委員会教育長 伊藤 渉
西白河地区国公立幼稚園長会会長 (白河市表郷幼稚園長) 生田 幸子
白河市私立幼稚園協会会長(丘の上幼稚園長) 藤田 華子
福島県保育協議会県南支部 (白河市わかば保育園長) 堀田 由紀子
白河市わかば保育園 園児 2 名 <予定>
 - ◇フォトセッション・記念撮影

※セレモニー終了後、PR 展示エリア前にて、日本赤十字社 福島県支部 総務課 総務係長 松本琢也による囲み取材を実施予定。

(オープニングセレモニー終了時間が予定より遅くなった場合、変更になる可能性もございます。)

<「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」白河会場 開催概要>

- 【開催期間】 平成 24 年 10 月 16 日(火)～10 月 25 日(木)
※10 月 25 日(木)の午前中は招待団体利用のみ。一般利用は 10 月 24 日(水)まで。
- 【利用時間】 **◆平日**
招待団体利用：10:00～12:00 ※午前中は一般の方はご利用できません。
(バス送迎あり)
一般利用：13:00～17:00
※12:00～13:00 メンテナンス
◆土日・祝日
一般利用：10:00～12:00 13:00～17:00
※12:00～13:00 メンテナンス
- 【主催】 日本赤十字社福島県支部
【共催】 白河市、白河市教育委員会
【後援】 福島県国公立幼稚園長会、福島県保育協議会、
福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、
NHK 福島放送局、ラジオ福島、ふくしま FM
- 【協力】 キヤノンマーケティングジャパン株式会社、東北協同乳業株式会社
- 【開催場所】 白河市国体記念体育館
(福島県白河市北中川原 30) TEL. 0248-24-3910



- 【対象】 白河市および近隣在住の未就学児

<「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」白河会場 プログラム紹介>

プレイランド(常設)

安全に配慮した遊具を設置し、子どもがおもいきり遊べる、プレイランドを設置。

(ボールプール/サイバーホイール/ブロックモジュール/ベビーコーナー/巨大エア遊具)



さかなクンのイラスト展&ぬりえワークショップ(常設)

さかなクンのイラスト展示コーナーやさかなクンのオリジナルイラストのぬりえを楽しめるコーナーもあります。

ステージプログラム

■「IGC」体操教室

池谷幸雄さん主宰の体操教室のインストラクターによる体操教室を毎日開催します。

平日:午前(招待団体向け) 1回

午後(一般向け) 2回

休日:午前 1回、午後 2回

※最終日は午前のみ



■バルーンアート

「大道 GATE プロダクション」から、しゅうちゃんのかわいいバルーンアートのスゴ技をお届けします。

10月20日(土)・21日(日)

①11:00~11:30 ②15:00~15:30 <予定>

特別企画 ふるさとアート

もみじの葉やどんぐりを折り紙でつくって、

名前やメッセージを書いて飾り、みんなで完成させるプログラム。

※団体は、出来上がった「ふるさとアート」をバックに記念撮影。会期終了後、各保育団体にお届け。

※一般利用による「ふるさとアート」は最終日に白河市に寄贈。

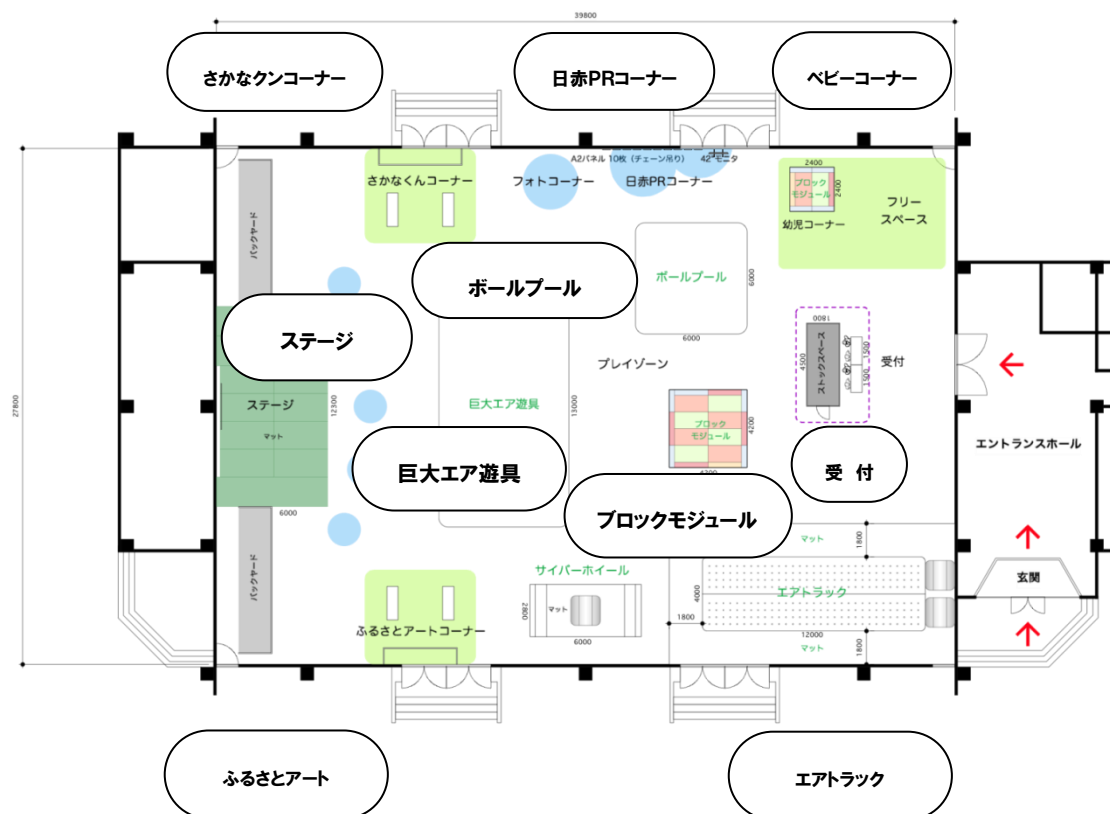


ご来場のお子様にオリジナルグッズをプレゼント!

※商品が変わる可能性がありますのであらかじめご了承ください。



<会場図>



※ご取材時は必ずプレス受付にてプレスパスを発行の上、ご取材ください。

<日赤キッズクロスプロジェクトとは>

日赤キッズクロスプロジェクトは、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県に対して実施する教育支援プロジェクトです。

東日本大震災では、学校をはじめとする教育機関も大きな被害を受け、授業の再開にも時間を要する結果となりました。特に、校舎が地域住民の避難所となった学校では、子どもたちの学習や活動が制限されました。また、被災した児童・生徒を受け入れている学校でも、学校生活に必要な備品が不足するなど、さまざまな課題を抱えていました。こうした状況を受けて、日本赤十字社では、教育の拠点である学校を中心に、子どもたちが一日も早く、もとの生活を取り戻すことが出来るよう、健康と教育の両面からの支援を行っています。主な活動内容は、下記のとおりです。



① 保健室への備品の整備

被災した学校の保健室に、身長計、体重計、視力計、ベッドなどの備品を届けています。届いた学校では、早速に生徒たちの身体測定が行われるなど、子どもたちの健康と安全を守るために活用されています。

② 仮設体育館の整備

沿岸部の学校では、津波で流出するなどして校舎が使えなくなり、仮設校舎に移転した学校があります。日本赤十字社では、公的な資金で賄われなかった仮設体育館の整備を支援しています。完成した仮設体育館は、体育の授業や学校行事に活用されています。

③ スクールバスの運行支援

学校から遠く離れた仮設住宅で生活している子どもたちは、安全面での懸念がある遠距離通学や、転校を余儀なくされる事態が生じていました。そこで、子どもたちの通学の足を確保するために、スクールバスの運行を支援しています。

④ 学校給食センターの資機材設備

学校の給食室や、市町村の給食センターに食器、保管庫、冷蔵庫などの備品を整備しています。その結果、子どもたちに、温かく多様なメニューが届けられるようになりました。

⑤ パソコンの整備

校舎の外での活動が制限されている地域の学校に対し、パソコンの支援を行っています。室内で活動せざるを得ない生徒たちは、パソコンを使うことで、授業の幅が広がりました。

⑥ 健康・安全に関する講習

子どもたちの健康を守るためには、子ども自身や保護者が、正しい知識や技術を身につけることが大切です。そこで、赤十字が持つ救急法講習などのノウハウを活用した、特別講習会を被災地で開催しています。

この教育支援プログラムは、日本赤十字社が行う本災害の救援・復興支援活動のために世界各国の赤十字社を通じて寄せられた約 562 億円にのぼる「海外救援金」を財源としています。

※国内外の多くの皆さまからお寄せいただいた「義援金」は本事業には一切、使用いたしません。義援金は全額が被災都道県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々に届けられています。

★さらに詳しくはこちらをご覧ください。→ <http://www.jrc.or.jp/shinsai2011/child/>

宛先：「すまいるぱーく in FUKUSHIMA」広報事務局 宮内

■会場：白河市国体記念体育館(福島県白河市北中川原 30)

フリーダイヤル:0120-770-828(平日 9:30~18:30) 当日の連絡先:090-3801-1233(10/16のみ)